

平成25年度 杉森中学校 第4回学校運営協議会 会議録

日時 平成 25 年度 9 月 5 日(木)17 時 00 分～19 時 30 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 高崎 彰
大川 洋
大熊 康子

大橋 亮介(校長)



《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)
シュティンベック 育子(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)
加藤 雄一(進路指導主任)
長谷川 祐子(嘱託事務)



会
司
校
長

長
会
長

まだまだ暑い日が続きますが、2学期も始まりましたね。

では始めたいと思います。校長先生お願いします。

資料をご覧ください。先日行われた職場体験で由井委員のところにお世話になった生徒たちが、ベンチを5脚作らせていただきました。そのベンチは南相馬市の仮設住宅に贈られました。東京新聞にその記事が載りました。8月末に中学生レスキュー訓練に参加した3年生の赤羽さんのコメントも新聞に掲載されました。今年の夏は新聞をにぎわせてくれる、良い活動ができました。

杉並区で行っているセシオン杉並「休日パワーアップ教室」に本校から20名が参加しました。(年16回テキスト代のみ。170名が応募)

3教科をみっちりやってもらいました。

9月7日学校説明会をします。学校選択の締め切りが9月30日です。学区外からの定員が30名です。定員は昨年より10名減です。

今年の表彰は、吹奏楽部が金賞。男子バスケが研修大会で1位になりました。

水泳大会では、1年生と2年生が1位になりました。

お盆の期間にも生徒たちが休まずに部活に参加していました。

司
会

会

先生方もお休みがなくて大変だったのではないのでしょうか。では、副校長先生の方からご報告をよろしくお願いします。

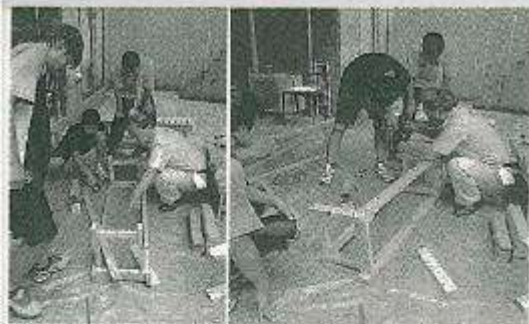
副校長

1階の昇降口に東京新聞・サンケイ新聞の掲載記事が張り出してあります。レスキュー隊の活動紹介が載っています。7月3日から学校公開が始まっています。参観に来た方からは、「杉森中は落ち着いていて、挨拶がきちんとできる学校だ」というご意見をいただきました。

部活動体験も学区外から見学にいらしています。

東京新聞 7/22





由井社長（右）から指導される生徒ら

職場体験の中学2年の3人

由井建設で長椅子づくりに挑戦
完成の椅子は南相馬の仮設住宅へ

[illegible][illegible]

中学生レスキュー隊
ロープ降下訓練体験

杉並消防署

杉並区中学生レスキュー隊の17人が26日、同区阿佐谷南の杉並消防署でロープ降下訓練などを体験した。

同隊は、中学生の防災意識や地域貢献意識の向上を図るため平成17年度に結成。今年度は区内23校の325人が参加している。

各校から選出された17人は、高さ7メートルの建物から壁



をロープで垂直に降りる降
下Ⅱ写真Ⅱや、水平に張ら

れた約20歳のロープを腕の力だけで移動する渡過などの本格的な訓練を体験した。初めて参加したという中学3年の赤羽佑美さんは「訓練は怖いけど、面白かった」などと話していた。

消防署で本格訓練

杉並区中学生レスキュー隊

杉並区中学生レスキュー隊に所属する十七人が二十六日、阿佐谷南三の杉並消防署で訓練に参加した。ロープ一本で移動する渡邊訓

練や壁伝いに地上へ降下する降下訓練など本格的な内容に、参加者は真剣な表情で取り組んでいた。写真。

同隊は中学生の防災



識の向上を図ることとを目的に、二〇〇五年度から区立中学校の生徒で編成され、本年度は全区立中学校二十五人が隊員となっている。

防士が「背筋を伸ばし、ゆっくりと一歩一歩で大丈夫」と励ますと、隊員は緊張した表情でロープを少しずつ緩めながら三千秒ほどかけて地上に到着。ほつとしたような笑顔を現せていた。初めに参加したという杉森中学三年の赤羽佑美さんは「訓練は怖いけど、おもしろかったです。ロープの結び方はレスキュー隊でもいけるので、忘れないうちにしたい」と話していた。

- 教務主任 学校説明会最終日、9/7 に学校説明会があります。昨年は 74 名の保護者の方にご参加いただきました。今年は座席を 100 用意しています。
- 学校説明会の資料お配りしましたのでご覧ください。当日配布するものです。
- 杉一小から、運動会のお手伝いボランティアの募集が来ています。
- 10 月の予定です。9 月 28 日から修学旅行に行っているので、10 月 2 日は 3 年生が振替休業日です。この日に杉並区の子・小・中合同研究会で社会と美術の校内研究授業があります。140 名の先生方にお知らせしています。
- 10 月 10 日から中間テスト、それが終わると 45 分授業で、合唱コンクールの練習が始まります。11 日に引き取り訓練です。始業式の後に行う予定でしたが、猛暑を避けてこの日に変更しました。
- 司 会 行事が盛りだくさんですね。何かご質問は？
- A 委員 小学校から依頼されたボランティアは、どんなねらいがあるのでしょうか。
- 教務主任 小中一貫教育として連携をとるのが目的です。小学校の方からは、小学 1 年生の面倒を見てもらいたいとのことです。
- その他、大道具の運搬など。出身校の先輩が来てくれる、先輩の顔をみながら入学する、小学校と中学校のつながりを持つという事です。
- 司 会 今回初めてですか？
- どんな体験をするのか楽しみですね。
- 校 長 前回の「つなひき」の延長線です。学習だけでなく、学校行事にも積極的に参加してほしいということです。
- 教務主任 こういうつながりを積み上げて行きたいと思っています。



A委員 運動会に卒業生が来て、片付けてくれるという中学校もありますね。地域や学校に関心をもってもらうのにいいですね。

生活指導主任 小学校の運動会ボランティア、たくさん応募があるといいですね。では、生活指導の報告をお願いします。

生活指導主任 大きな怪我もなく、夏休みを終えることができました。防災に関してですが、先日地震が水曜の道德の時間にありました。すぐに生徒たちは机の下にもぐりました。一言も無駄なおしゃべりをせずに行動することができました。

生活指導主任 引き取り訓練に意味を持たせたい。震度5弱以上のときは家に返さないことになっていますが、実際に起きたときの意識をもってもらいたい。中間テストが終わってからの平日の引き取りになります。防災意識の再確認になってもらえばいいと思います。

進路指導主任 7月24日にESS(イングリッシュサマースクール)がありました。2泊3日。八王子セミナーハウスで英語活動に取り組みました。30名が参加し、6名の外国人講師を招いて3日間の英語漬けのとても有意義な行事でした。特色ある教育活動として行っています。

進路指導主任 詳しくは、3Bの掲示板に貼ってありますのでご覧ください。3年生は9月28日から、京都・奈良に修学旅行に行ってきます。

進路指導主任 9月3日から学校公開・道德授業・教科領域等様々な形でオープンスクールをやっています。一斉道德の授業公開の後、保護者の方を対象に本校スクールカウンセラーの中村先生の講演もありますので、ぜひ、ご参観ください。

進路指導主任 全国学力調査の結果では杉森中は国語・数学共に都を上回り、自尊感情が高いという傾向がみられ、地域活動に参加したいという意識も高いようです。

進路説明会が10月7日(月)にあります。

会長 地域活動に参加したいというのは、うれしいですね。杉森の生徒たちは地域のお祭などにうまく溶け込んで活躍しています。地域づくりに参加していますね。

司会 地域活動に参加した後、「これはおもしろかった」「こう思う」などの発表はあるんですか？

進路指導主任 特にそういう場は設けていませんが、レスキューやラジオ体操などに参加した生徒には、表彰状を出したり写真を掲示したりするなどの工夫をしています。次につながる活動にしてほしいと思っています。

副校長 中学生サミットへの参加も引き続きやっていきたいと思っています。

会長 杉森中の壁面のプレゼンテーションはとても充実していますが、紙の上だけでなくオープンスペースを利用してプレゼンテーションができるといいですね。自分の言葉で語れるようになってほしい。

会長 ESSの英会話力もみんなに披露してほしい。

進路指導主任 11月2日に中学校連合文化祭があり、連合英語学会では、ESSで行った英語劇のパフォーマンスをやりたいと希望している生徒もいます。

教務主任 週一度朝読書の書評をしています。話すだけではなく、伝えるという事が大切です。これからあるジャズストリートもあります。美術部では、ニカラグアと絵の交流をします。大きな絵を送る予定です。

B委員 ニカラグアとの交流とは？

教務主任 ESD(持続可能な開発のための社会を作る学習)でアートマイルジャパンという団体が色々な学校に呼びかけてやっています。ジャイカも入っています。一昨年パキスタンとも交流したことがあるのですが、手紙も届かず返事がこなかったりしました。なかなか大変です。

会 長 良い国際交流になるといいですね。



司 会 では、協議に入ります。

会 長 広報誌についてですが、内容をある程度固めてしまわないといけませんね。一野委員にお願いして私も入って決めたいと思います。テーマをどうするのか、次回案をだしてほしいのですが。土曜日のあつかいについて、学校週五日制についての保護者の意見をきいてみたい。

総合的な学習を入れて地域とのかかわりをどうするのかなど次回お話ししていきたい。

司 会 土曜日授業は地域の人材を活用しながらやっていくというようなことを広報誌に載せてもいいのでは？

会 長 地域の連携をとっていければよいですね。

司 会 他の地区の事例を吸い上げてくる必要がありますね。

校長 月一度程度の総合的な学習などで、体験活動などをするようになっていくと思います。授業確保のための土曜日ではありません。

地域人材がどこまでかかわってやっていくのか、小中連携活動はどうするのか、など前向きなものになっていくと良いと思います。良いアイデアがほしいですね。これに関してディスカッションをして、広報誌に載せるのもいいかもしれませんね。

A委員 事例を集めて座談会にしたら良いかもしれません。多くのみなさんに知ってほしい。

B委員 土曜日授業の話は宿題ということですね。

司 会 そうですね。では次回は 10 月 10 日です。

＊このあと、人事関連について報告等（非公開）

